

2020/12/12(土)      八ヶ岳西天狗・東天狗

メンバー：L 野中、谷内、小野木、若菜、福田、辻、岩田、結城

今年の忘年山行は雪が少なく、当初予定の遠見尾根を変更して地元の天狗岳に行ってきた。駐車場もまだ余裕で停められた。天気予報は曇空であつたが予報に反して青空も見え、まずまずの天気となった。早朝の冷え込みもそれほどなく歩き出せばすぐに汗ばんでくる。樹林帯の中は薄っすらと雪がある程度で登山道はアイスバーン状態。粉雪を振りかけたような白い苔と樹氷がとても美しい。一昨年の冬山合宿ではかなりの積雪と強風にはばまれ体調不良者もいて展望台止まりだった。急登の上に深い新雪でラッセルしてもらったのになかなか大変だった。

今日は穏やかな天気で第二展望台では里の風景も良く見え、保険の意味で集合写真を撮る。展望台の下りで後ろから「あ～！」の叫び声。振り返ればOさんがひっくり返りそうな勢いで尻もち。「それって笑いを取りにきてる？」「そんな訳ないだろ！」いやいや大阪人はそこまでやるかも？？

樹林帯の中でアイゼン装着。防風、防寒のために身支度を整える。アイゼンが無くても行けそうな感じだったが、登頂後の下りではアイゼンが必須とのこと。山頂の強風下でアイゼン装着は大変だから早めに装着するのだそうだ。こうした装備の準備は全員が一斉に行うのが原則とのこと。雪山経験が少ない自分にとっては一つ一つが勉強でもある。

西天狗への岩場は雪が解けて再凍結した氷とのミックスでほぼ岩の上をアイゼンで歩く。こんな雪のない岩場をアイゼンで歩くのは初めての経験で「無しの方が楽だよなあ～」と思いながら山頂を目指す。ここでは今までになく風に吹かれ山頂に行ったらさぞ大変だろうと思う。ところが山頂についてみると今までの強風は何だったの？と思うくらいぴたりと風が無くなった。さっきまでは青空も見えていたのにガスってきて山頂からの景色もかすんでしまった。目の前の東天狗もガスが流れては見え隠れしている。少休止の後、東天狗めざして下降。やはり下りはアイゼンがあり安心。最後の岩場を登り切り東天狗に到着。さっきよりガスが薄れ振り返れば西天狗が良く見えた。眺望もそこそこ見え、風も思ったほどでなく冬山にしては穏やかな登山日和となった。

中山峠を目指しアイスバーンと岩のミックスした急坂をアイゼンで下る。急斜面が終わったところでアイゼンをはずす。アイゼン無しの下りは少々不安でかなり注意深く足を運ぶ。黒百合ヒュッテに到着。やっと安心して大休憩。持ち寄った総菜を皆で食し和やかな大休憩となる。

名物のビーフシチューを注文して写真を撮っている2人組。「美味しそう！」思わず目が行く。

唐澤鉱泉までの樹林帯は木道が多く、氷の張りついた木道は恐怖である。極力用心深く「滑りませんように」と内心ドキドキしながら足を運ぶ。緊張の連続であつた。

週末のせいかテント泊の登山者が何組も上がってくる。明日は今日より天候が悪いのに「まあよくだなあ・・・」と、皆冬山が好きなんだね。

無事唐澤鉱泉到着。風も大したことなく穏やかなまずまずの天気。総勢8人。終始おしゃべりが聞こえ賑やかな山行となった。雪が少ない冬山訓練となったが上出来でしょう！

【コースタイム】 天気：曇り時々晴れ

唐澤鉱泉 6：55～8：45 第一展望台～9：30 第二展望台～10：45 西天狗山頂

小休止（出 11：00）～11：20 東天狗山頂（出 11：40）～12：45 黒百合ヒュッテ

大休憩（出 13：05）～15：00 唐澤鉱泉

樹氷・きれいだね！



第二展望台にて



東天狗山頂にて



東天狗へゴー



東天狗から見る西天狗

